広報
うまじ
第248号
平成21年8月1日発行

7月4日土曜日、魚梁瀬保育所で夕涼み会が行われました。
この日のために練習した踊りを、7名の園児が一生懸命発表しました。

目次

生きぬく力を育てる…… 2·3
村役場職員の給与…… 4
ボランティアガイド養成講座前期報告…… 5
安田川山物語…… 6·7
議会だより…… 8·9
魚梁瀬杉の子クラブだより…… 10
続·馬路村の巨樹名木…… 11
安田川を美しくする村民会議からお知らせ‥12
馬路村俳壇…… 12
馬路村の歴史と伝説…… 13
Hello!ナオミよ! …… 14
Dr.内田のひとりごと…… 15
お知らせ…… 16
行事予定表…… 17
村内あちらこちら·
村のできごと…… 18

生きぬく力を育てる ⑦

～キャリア教育～　村内合同学習会Ⅰ期

5月15日に魚梁瀬において、今年で7年目になる村内4校の合同学習会を実施しました。同じ村内の児童・生徒が仲間意識を持ち、コミュニケーション能力を育てることをねらいとして行いました。

1～4年生

『魚梁瀬の自然を満喫』

晴天に恵まれ、二十九名の児童は徒歩で魚梁瀬のキャンプ場に行きました。子どもたちは魚梁瀬大橋の高さに尻込みしたり、湖水の雄大さに感動し、驚いていました。到着するなり、思わず「すごいね」と言う子どもたちの歓声。広々とした草原、周りには小川が流れ、滝の下の池では、アメゴや小さな魚がたくさん泳いでいました。もう一つの池には、中央に島があって、丸太橋が架かっており、子どもたちは渡ってみたくてたまらない様子でした。

『4年生の活躍』

キャンプ場では先生たちも加わって、こおり鬼で思う存分走りました。そして、馬路魚梁瀬混合チームで、4年生が考えたゲームをして楽しみました。

その後は、みんなで仲良くお弁当を食べました。自由時間には、周りを探検したり、池のこけを取りに入ったりと自然を楽しみました。

4年生の作文から

○今年は魚梁瀬に1人転校生がきたので、クラスは10人になりました。仲良くなりたくて、私から声をかけに行きました。そして、すぐに仲良くなり、池に入って遊んだり、前の学校の話を聞いたりしました。

○今年は馬路の人が魚梁瀬に来ました。最初は始まりの会の時、馬路小の人数を見てびっくりしました。わたしにとってとても人数が多いように思いました。キャンプ場へは1年生のさくらちゃんと手をつないで行きました。とてもかわいかったです。

5～6年生

活動のメインは修学旅行の事前学習。いっしょに修学旅行に参加する仲間がそろいました。（「」内は児童の声）

健康に関する学習

魚梁瀬小の養護教諭の野村眞理先生が、実際に経験された例を挙げながら、みんなで大切な注意事項について勉強しました。子どもたちは真剣に耳を傾けていました。

「自分で健康管理をしておくことも、修学旅行を楽しむための方法だと分かりました。」

班活動

旅行団の団長や班活動の係などを決めました。役目が決まって気持ちも高まります。

「ぼくは食事係になったのでがんばりたいです。」

「だんだん慣れてきてみんなで話し合いができました。自分の仕事をがんばろうと思いました。」

おべんとう

いっしょに食べると、緊張がほぐれていくのはどうしてかな？

「いつもより人数が多かったのでおいしく感じられました。」

わくわくの計画

子どもたちが楽しみにしている大阪のユニバーサルスタジオジャパン。ジェットコースターに乗ろうか、のんびりいこうか、楽しみです。

ドッチビー

残りの時間で思いっきりドッチビーをしました。

「普段はいっしょに遊べない人といっしょに遊べました。」

◇千本山登山

前回までは馬路中学校を会場に授業を行ってきましたが、今回は「交流」をメインにした学習会にしようと、千本山登山に挑戦し、自然の中での体験学習を取り入れました。

☞いざ　千本山へ！

午前9時ごろ、馬路中の生徒たちが魚梁瀬に到着し、魚梁瀬中の生徒たちと一緒に、宝蔵山親水広場までバスに揺られて移動しました。そこでは、安芸森林管理署魚梁瀬事務所の島田朝彰さんらを講師にお招きし、楽しいレクリエーションで盛り上がりました。

お互いの緊張もほぐれ、和やかな雰囲気の中、いよいよ千本山登山に挑戦。

「山の案内人」の枦山逸男さんのガイドのもと、千本山の歴史や自然についてのお話に耳を傾けながら、木の根っこのゴツゴツの斜面に足を踏ん張ります。

登る途中には、各班に分かれて、島田さんからのミッションを達成していくネイチャーゲームを楽しみました。

初夏の美しい風景を満喫しながら歩くと、きつい上り坂も心地よく感じられます。

▲ゲームに使ったカード

途中の休憩地点では甘いキャンディーで疲れを癒しながら、ようやく頂上へ！眼下に広がる素晴らしい景色を眺めながらみんなで食べるお弁当はまた格別な味がしました。

例年の合同学習会とはまた違ったひとときを共にして、同じ汗を流した今回の体験を、第Ⅱ期の学習会での交流に生かしてほしいと思います。

☆生徒の声☆

★今日は馬路と合同学習会でした。しかも、何年ぶりという、馬路中が魚梁瀬に来る日でした。中学生は千本山に登りました。登りはきつかったけど展望台から見た景色や、弁当などのおかげで回復しました。

☆千本山は3回目なので、もう慣れてどんどん登れました。そこでは動物のフンやクモの巣を見つけたり、鳥の鳴き声が聞こえたりしました。頂上でごはんをおいしく食べました。

★初めて千本山に行きました。登りがけっこう疲れました。3回ぐらい休みをとっていき、頂上に着くととても気持ちよかったです。そこで弁当を食べました。それがとてもばつぐんにうまい！下りるときはあまり足が痛くありませんでした。

☆千本山登山。すごく疲れました。でも、その分、久々に千本山に登り新しい発見もあって、自然も味わったし、魚梁瀬中学生とも面白いレクリエーションで交流できて一石二鳥でした。

★山へ登って感じたことは、ものすごく地面が柔らかかった。それに橋の大杉も、「これって本物？」というくらいすごくでかかった。僕は自然も、授業の一つのように、すごく勉強になった。

村役場職員の給与

役場職員の給与を公表します。給与は、民間の勤労者の給与をもとに出される人事院勧告に準じた内容で、条例議案がつくられる一方、特別職の報酬等は特別職報酬等審議会で審議され、いずれも村長により議会に提出されたのち、議会の議決を経て決定されることとなっています。

1．職員給与費の状況（一般会計予算：平成21年度当初）

（単位：千円）

区分	職員数	給与費				1人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計	
平成21年度	35人	133,356	14,525	53,907	201,788	5,765

2．職員の平均給料月額・平均給与月額および平均年齢の状況（一般会計予算：平成21年度当初）

一般行政職		
平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
317,510	342,330	40.2

※平均給与月額とは、平均給料月額に扶養手当、住居手当を加算したものです。

3．特別職の報酬等の状況（以下：平成21年4月1日現在）

区分	給料月額	期末手当
村長	696,000円	6月期 1.40月分（21年度に限り、1.25月分） 12月期 1.60月分 合計 3.00月分
副村長	604,000円	
教育長	562,000円	
議長	236,000円	
副議長	190,000円	
議員	162,000円	

4．職員の初任給の状況

区分		初任給
一般行政職	大学卒	161,600円
	高校卒	140,100円
技能職	高校卒	140,100円

5．一般行政職の級別職員数の状況

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
標準的な職務内容	主事	主任	主幹	係長	主監	課長 支所長	
職員数	4人	2人	12人	6人	5人	6人	35人
構成比	11.5%	5.7%	34.3%	17.1%	14.3%	17.1%	100.0%

6．職員手当の状況

区分		状況	
扶養手当	配偶者	13,000円	
	配偶者以外の扶養親族	1人目から 6,500円 16～22歳の子 1人 5,000円加算	
住居手当	借家の場合	家賃 12,000円を超える場合 家賃に応じて 27,000円を限度に支給	
	自宅居住者	住宅取得から5年間に限り 2,500円	
通勤手当	交通機関等利用者	55,000円までは全額支給	
	交通用具使用者	距離に応じ 2,000円～24,500円を支給	
	片道2km未満の者	なし	
期末・勤勉手当	支給期別	期末手当	勤勉手当
	6月期	1.40月分（21年度に限り1.25月分）	0.725月分（21年度に限り0.7月分）
	12月期	1.60月分	0.725月分
	計	3.00月分	1.45 月分
	制度上の段階、職務の等級による加算措置	有（ただし、特例措置により勤勉手当については、加算措置を行わない。）	

ボランティアガイド養成講座前期報告

4月下旬に有線放送にて募集した、馬路村ボランティアガイド養成講座の研修生は、村内講師、役場職員、ふるさとセンター職員、村民有志を含む約12名の方が馬路村の観光ガイドを務められるように、5月、6月の2カ月間に4回の養成講座を受講し、このほど前期日程が終了しました。（事務局：総務課）

ねらい

この養成講座は、「旧魚梁瀬森林鉄道施設の重要文化財指定」や、昨年の「日本で最も美しい村連合への加盟」、また「にほんの里100選へ相名部落が選定」がされたことにより、従来の産業や行政視察の分野にとどまらない来村者が、今後増加するものと予想されることから、村では受け入れ体制を整備し、来村者の要望に的確に応えていくために、ボランティアガイドを養成し活用していこうと開講したものです。

第1回講座

「自然」をテーマに、魚梁瀬地区の枦山逸男氏を講師に迎え、魚梁瀬の集落から約22km離れた西又山へ行きました。時期は5月の上旬、ゴヨウツツジ（シロヤシオ）が満開を過ぎかけたころでした

西又山にはブナの木が本村では最も多く群生しており、尾根筋のブナ帯はこの時期、新緑の鮮やかさが見事でした。長年堆積した落ち葉などにより一帯の土は非常に深く、ブナ林の保水力の高さを教えられました。

また、山の8～9合目あたりにはイチイの木があり、その推定樹齢は千年から千二百年といわれています。四国では1番の大きさを誇り、日本では14番だそうです。

▲イチイの木の前で

第2回講座

「森林鉄道」をテーマに、馬路地区の清岡博基氏を講師に迎え、重要文化財に指定された「旧魚梁瀬森林鉄道施設」を全て見学しました。また、その途中に北川村の林道西谷線を上がり、朝日出の大杉へも行きました。

「旧魚梁瀬森林鉄道施設」については、参加者の多くはいつも通りすがりに見ている施設の歴史や、構造などにふれ感動している様子でした。

朝日出の大杉は、その大きさと何ともいえない雰囲気に、そこに行った者でしか分からない迫力を、皆さん肌で感じていたようでした。

第3回講座

「馬路村周辺」と「産業」をテーマに、馬路、安田間の名所を安田町教育委員会の方に、そして「産業」をJA馬路村とエコアス馬路村の方にそれぞれ講義をしていただきました。

安田町では県道沿いにある北寺と釜ヶ谷の滝へ行きました。北寺には国の重要文化財である仏像が9体安置されています。また、滝には蛇姫伝説があるということも分かりました。

第4回講座

「歴史文化」と「生活文化」をテーマに、相名部落の生活文化を清岡博之氏に、熊野神社を山中巌氏に、金林寺薬師堂と天保の家を県文化財課の溝渕博彦氏にそれぞれ講義をしていただきました。

相名部落は、「にほんの里100選」に選定されたその経緯と実際に見て回った場所などを案内していただきました。

熊野神社の講義では、ご神体が銅鐸であることや、拝観が禁じられていること、文化的価値が非常に高いと考えられていることを教わりました。

金林寺薬師堂と天保の家では、その建築様式の構造と価値を講義していただきました。

▲朝日出の大杉

まとめ

前期日程を終了し、受講者からは、実際に目で見て学習したことで、自らの経験を生かして、観光客に案内や説明をすることができたなど、効果が現れ始めました。このように、自分の村やその周辺を知ることは、村外とのつながりを持つことができると強く感じました。

後期の講座は秋から行う予定で、魚梁瀬地区のお化け杉や雁巻の窓など、まだまだ知られていない村の財産を学習することになっています。

後期講座を成功させ、第一期生を送り出せるよう、村民の皆様のご意見などをお待ちしています。

安田川山物語（やすだごうやま）

― 長滝檜立山（ながたきひのきたてやま）のふもとで ―（5）

文・構成　／　清岡博之

木材を集める

伐採現場から集材場へ

伐採現場から集材場（もしくは積み込み場）へ木材を集める作業を〝集材〟という。

集材用の発動機を据え、木材の散らばる伐採現場に向けてケーブルワイヤー（＝集材線）を張る。発動機の運転手が1人、伐採現場で木材をくくる者が1人、つってきた木材を集材場でほどく者が1人の、計3人が一組となる。

発動機は馬力が弱い（20～15馬力程度）。そのため集材線は400～300m程度までしか張れない。巻き取り速度も遅く、人が歩く程度だ。それでもくくり手と運転手の間の見通しが利かない場所では、旗振り手を置き、双方の合図を中継させた。

◇　こば寄せ

今日から〝こば（木場）寄せ〟に山へ上がる。貨車への積み込みがひとくぎりついたので集材へかかることにした。

くくりのワイヤーが届くところまでは人力で木材を集めねばならない。伐採現場にはそまが切り倒し、枝を打ち、規定の長さ（主に4m材）にそろえ、トウケン（木材の端）を丸めて皮をはいだ木材が折り重なるようにある。スギが多いがヒノキはもちろんモミ、トガ、マツも混じる。天狗森が近いあたりで、標高が1，000mにもなるとブナも加わる。

「このあたりからやるかえー」

「きのうの雨で滑りがよかろぉー」

「おぅ　そのかわり足元も滑らあねや！人間がいきぬけなよぉー　新婚さんよぉ」

「おんしこそよ！」

ツル一丁を頼りに地面の傾斜を利用して木材を寄せ集めることを「こば寄せ」といった。木材や地面がぬれていれば滑りがよい。

大きいものには4人がかりとなる。前にまわった2人が、先のとがったツルをトウケンの下へくわしこみ、体重をかけ、テコの原理を利用して地

資料写真：上/ツルを手にしてのこば寄せ。頭はてぬぐい巻きやら帽子やら様々である。足元はキャハンを巻く　下/無数の木材が集まる。ひよう4人が元玉と思われる大木を動かしている。前の2人がトウケンを起こす＝「寺田　正写真文庫」魚梁瀬署東川事業所　昭和26年

面からわずかに浮かせながら前方へこぜる。両脇にいる2人も前の2人のタイミングに合わせてツルを使う。4人の呼吸がそろうことが大切である。そのために節をつけた歌をうたう。

「ヨイトコこいや～れ　」
「ヨイトコこいや～れ…」

前の1人が音頭をとり、あとの3人が調子を合わせる。歌にも上手、下手があり、マサイツ(23)と後年に仲間入りするセツオは上手だ。決まった文句もあったがそのつど、お互いを茶化しあったり、エッチな文句をまぜたりする。

木材は数cmから数十cm単位で動き、傾斜があって障害物がない場所では一気に数mも滑り落ちる。傾斜がゆるいと〝リン（枕にする木）〟をしいた。これを幾度となく繰り返しては散らばっている木材を1本1本、集材線の近くまで集める。現場が近ければこば寄せだけで集材し、積み込みまですることもある。

◇　スラ出し

スラ（「修羅（しゅら）」ともいう）出しも用いた。サコや谷のくぼみにそって木材を組み、滑り台のようなスラをつくる。この上を、木材を滑走させる。馬力の弱い発動機では集材線を長く張れないため、スラ出しとの併用もした。

その後、発動機からディーゼルエンジンの高速集材機（100馬力程度）へと切り替わり、集材能力が大幅に向上する。天狗の谷の奥を集材する頃には集材機となった。1,000mをこして集材線を張れ、スラ出しは姿を消すことになる。

その一帯のスラ出しが終了すると、スラ用材も後尾から順番に取りはずしてこれも集材した。（次号へ続く）

資料写真：スラ出しである。小さな谷を蛇行してスラがつくられている。傾斜が緩いところでは人力を必要とした。ツルと竹の棒を柄にしたトビを打ち込んで木材を引っ張っている＝「寺田正写真文庫」　高知署管内　昭和26年

500mほどのスラ　須垣谷

比奈岡忠雄さん
昭和7年生

おじ夫婦に連れられ、須垣谷の奥へ入ったのが高等小学校を卒業してすぐの昭和21年だった。おじは十数人のひようを連れて、伐採現場から軌道近くまでの集材を請けおっていた。久藪で本線から分かれた軌道は谷のヅメ(最奥地)まできていた。

初めはかしき(炊事)の手伝いや雑木の取りあらけなどをしていたが、そのうちにスラの水打ちをすることになった。スラの表面が乾いていては木材が滑らない。七分ほどに切って、持ち手をつけた〝1斗缶〟に水を入れ、ひしゃくで水を打つ。夏はすぐに乾くので何人かの水打ち人が朝から晩までスラを上下した。スラの長さは500mほどあったと思う。冬は打った水がこおり、人間もよく滑った。

頭のすぐ上を木材が走る

長いスラでは一度に全長を通すのではなく、途中に〝ため場〟をつくり木材をまとめながら段階的におろしていった。スラにはところどころに水くみ用の窓がある。そこにもぐって水をくんでいると頭上を木材が勢いよく走っていったこともある。

その後長滝へ移り、危ないことだが、貨車に乗ってインクラを上がったり下がったりもした。

長滝時代には主に山内軌道とインクラインの運行に従事。機関車の運転講習は営林署で受けた。インクラを背景に後左が比奈岡さん、前が乾要人さん

議会だより

No.117

6月定例会

平成21年6月定例議会は、6月11日から17日までの7日間の日程で行われた。
初日は、諸般の報告の後、平成20年度一般会計及び簡易水道特別会計繰越明許費の報告について審議し、3件の議案説明が行われた。
12日から15日までは議案精査のため休会。
16日は一般質問を4氏が行い、その後、議案の質疑採決をして閉会した。

一般質問

問　山中　隆議員

本村の人材育成に対する教育委員会のあり方について伺いたい。

広域事務での協議状況で昨年度の全国学力実態調査で本県は沖縄県に次いで下から2番目と記述されている。また東部はかなり低いと言われている。最近、報道によると保護者の67％が公表を求めているとされているし、自治体の中には公表すべきであると発言する首長もいるがどのように考えているか。

基本方針で「文化の振興」とあるが、拠点である公民館もなくなり、就改センターで数グループによる文化活動も行われておるが近年、文化祭があまり活発でないように思える。全職員一丸となり、創意工夫をし、汗をかいてほしい。郷土館の利用状況はどうなっているか。人間形成の上でも文化は大切と思う。「今日行く委員会」の意味を伺いたい。

答　教育長

文科省では、一般に公開されることになると、序列化や過度な競争が生じる恐れや、参加主体からの協力及び国民的理解が得られなくなるなどで、調査の適正な遂行に支障を及ぼす恐れがあると考えられるため、情報の公開に関する法律の規定を根拠として不開示情報として取り扱うこととしており、村教委においても、村の情報公開条例の規定に基づき公開はしないこととしています。

文化教室は現在10の団体が活動しており、それに放課後子どもクラブ、ピアノ教室、英会話などの利用がありほぼ毎日の利用があります。今後生涯学習活動と参加される方のすそ野を広げる取り組みが必要と考えております。

郷土館については、4月から毎日曜日や対応が可能な祝日などには開館しております。

また、「今日行く委員会」と記載しているのは、職員がスピード感を持って事務・事業を意欲的に展開するようになどとしており、仕事に臨むにあたり必要な姿勢として、このことについて指示をしております。

問　岡田　長康議員

しばらく欠員となっていた代表監査委員が4月7日の臨時会で選任された。本来ならその時点で、顔合わせを兼ねて就任の挨拶があるのが一般的であると思うが6月定例会でもなかった。監査委員、議員にとってもお互いに顔を合わせて人柄を知り、理解を深めあうことが大切なことだと思う。村長はこのことについてどのように考えているのか、これからもその機会を設ける予定はないのかお聞きする。

答　村　長

監査委員につきましては9月議会には決算の認定議案を提出する予定があり、議場にも出席しますので改めまして機会がありましたら紹介もさせていただければと思っています。

人事案件につきましては、可能な案件とそうでない案件とがあろうかと思いますが議会で選任されましたら、その方をその日にこの議場で、できるだけ議会で皆さんにご挨拶できるような体制作りを検討していきたいと思います。

問　岡田　長康議員

現在、副村長が不在となっている。その最中に100年に一度と言われている経済危機を迎え、国はその対策として大規模な補正予算を計上し、本村にも20、21年度合わせて約2億4千万円が交付されることになった。今の村の現状で、執行部も業者も共にこれを消化する能力があるのか。特に執行部は当然各課が一体となって取り組まなくてはならないが、それには、指揮調整役が必要である。その役割を果たすのは副村長であると思うが、選任の見通しはどのようになっているのかお聞きする。

答　村　長

副村長のポジションは重要であることから、様々な角度から総合的に判断して今後検討していきたいと思っていますが、私の任期が残り10カ月程度ということもあり、もうしばらく考えさせてもらいたいと思います。

平成20年度、21年度の補正予算の普通建設の執行体制についてですが、普通建設費の割合が19年度15％、20年度18・3％、21年度30・3％と大きくなっており、今回補正分を行うことになれば村職員も余力ということはむつかしく大変厳しい環境になってきています。また、その事業を請け負う業者も村事業だけでなく国、県も補正予算が出さ

れると思うので、なかなか対応しきれない状況が考えられます。正当な理由により繰り越しできる事業は繰り越すことで業者も事業をこなしていけるのではないかと考えています。

問　五味　隆仁議員

国の第2次補正の「地域活性化、生活対策臨時交付金事業」や「地域活性化経済危機対策臨時交付金」などの経済危機対策の施策により、20年度、21年度と多額の交付金が国から来る。その交付金の活用においての村財政への影響と今後の財政運営の見通しについて聞く。

答　総務課長

国の景気対策の名の下、20年度2次補正地域活性化・生活対策臨時交付金として1億82万2千円、今回の21年度補正予算地域活性化・経済危機対策臨時交付金として1億2千27万2千円が限度額として配分されます。この景気対策の交付金は100%補助充当であり、使途は要綱でも村の裁量が大きく認められております。村では振興計画、過疎地域自立促進計画の中から22年度以降の計画事業の前倒しをこの交付金で大部分行っており、そのなかでも公共施設の耐震化を図れることは今後の行財政運営でありがたいことです。

それぞれの交付金の全額充当を最重要課題として取り組み、逆に充当が完了すれば、余分な基金での事業は状況により取りやめることも想定しておかなければなりません。全体として事業の執行には財政担当課としても細心の注意を払っていきたいと考えています。

今後の財政運営については、この景気対策による普通交付税への増額分は20年度、21年度、22年度と行われる予定ですが、その後は三位一体改革以上の財政締め付けがあるのではないかと考えます。国地方の借金残高は800兆を超えるものとなっており、税収も下がることから23年度からの財政運営は厳しくなることを予想しておかなければなりません。

自主財源に乏しい本村は経済情勢、国の状況の影響を大きく受けます。その中で産業振興等重要課題に対応するため、基金の効率的な運用、過疎債等有利な地方債の活用、有利な補助事業の採択等をしながら、財政運営に取り組んでいきたいと考えています。

問　岩城　佳子議員

政府は100年に一度といわれる経済危機から立ち上がるべく、20年度、21年度と大規模な追加経済危機対策を打ち出してきた。本村も村内の活性化にと、これらの交付金を活用し多くの事業を計画しているが、これらの事業を実施するにあたり、執行部、特に職員間の対策の見通しはどうか伺いたい。

答　村　長

平成18年度に策定した行政改革プランに沿って職員の削減を行ってきており、村長部局では42人から21年度は34人と大幅に減少している。6月15日現在、副村長の退職、職員の休職、長期病気療養中と、厳しい状況の中で事業をスムーズに行っていくことは大変厳しい環境ですが、それぞれの課において職員が力を合わせ全力で取り組まなくてはならないと思っています。また、内部だけでなく、住民のご協力がなくてはできない事業が多くありますので、今後住民の皆さまのご協力、ご理解をお願いします。

議案と審議結果

6月定例会には、報告議案2件、議案3件、議員提出議案1件が提出され、いずれも可決された。（抜粋掲載）

［平成21年度一般会計補正予算］

1億7430万円追加（累計20億1830万円）

主な歳出は地域活性化・経済危機対策臨時交付金による事業費（左表参考）

第四回臨時会

（五月二十七日）

村税条例、国民健康保険条例の一部改正の専決処分2件を承認。

議員、特別職、一般職員の期末手当支給などに関する条例の一部改正など6議案を可決し、閉会した。

平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金による事業

（単位　千円）

事　業　名	事業費
部落会館建設事業（3部落）	31,190
林道榊谷線舗装事業	10,850
釈迦土捨場整備事業	13,350
魚梁瀬温泉整備事業	25,500
教育ICT事業	8,800
魚梁瀬中学校教室増築事業	17,000
魚梁瀬保育所外構事業	8,000
魚梁瀬森林鉄道改修事業	3,500
ハイブリッド車購入事業	5,000
魚梁瀬最終処分場整備事業	28,700
グラウンド整備事業	5,000
計	156,890

魚梁瀬杉の子クラブだより

広報第２４５号で投稿のあった、魚梁瀬地区の島田朝彰さんから杉の子クラブ（放課後子ども教室）の記事が届きました。活動のようすを紹介します。

▲ゲーム楽し～い♪

今年も放課後子ども教室は魚梁瀬杉の子クラブに委託されました。

午後4時から魚梁瀬支所で宿題、5時からレクリエーションゲームやバドミントン、今年から始めた一輪車、プールなどいろんな活動をしています。

また、昨年は4回しかできなかった「体験活動」も10回計画し、月に1回程度実施していくことにしました。4月の体験活動は、カボチャのドーナツ作りです。

▲おいしくなぁ～れ！

▲どんな絵を描こうかな…。

きれいにたくさんできたので、5月に販売体験をしました。

支所の前に1日だけのお店「ド・モチ」を作りおもちの実演販売と子どもたちが作ったドーナツを売りました。店長は6年生の梶原真友さんです。

当日は行列ができるほどで、おもちもドーナツも30分で完売になりました。大好評だったので、2回目もやりたいと子どもたちは大喜びでした。

▲売り切れゴメン！

▲みんなで畑仕事♪

2回目は自分たちで育てた物を売ろうと、6月の体験活動で畑を耕しお芋を植えました。秋には収穫し、焼き芋やスイートポテトにして販売する予定です。

杉の子クラブでは、放課後子どもを見守るだけでなく、地域の人との交流やいろんな体験をすることで、成功はもちろん失敗もしながら子どもたちの成長の手助けになればと考えています。

▲宿題終わらすぞ！

～今後の予定～

流しソーメンやウオークラリーをはじめ、10月のハロウィーンや12月のクリスマス会などの季節的なイベントもいろいろ予定しています。

▲名札

▲よっこらしょっと…。

続『馬路村の巨樹名木』⑥

東川林道から影地山橋（魚梁瀬丸山台地から11㎞）をわたって影地山林道46線に入る。林道終点手前約200ｍに谷止めのえん堤が新しく築かれている。そこからなお50ｍ手前に沢が流れ出ており、目印のテープが揺れている。テープを追って沢を20～30ｍ上がると、小さなウネに山道がみつかる。適度な休みをいれながらスギの植林地内を1時間も登れば、徳島県との境をなす稜線の踏み道に合流する。

合流点には直径1・30ｍほどのモミの木があり、北に向かえば影五郎（1，148ｍ）へ至る。目的の仙現丸は影五郎を背にした南方向にあり、右側に高知県（馬路村）、左側に徳島県（海陽町）を見て稜線を南下する。

せんげん 仙現丸の大杉 <1,061ｍ>

地上4ｍほどから山側に1本（中央右の直立したもの）、谷側に2本の支幹が成長している。地表は冬枯れのシダがおおう

合流点から20分少々登ると仙現丸頂上に着く。スギの人工林におおわれており、山登り会のプレートを目にして頂上であることを知る。山名とともに1，061ｍとしるされている。

天然スギがわずかに残る高知県側にやや下がると、周辺が急にひらけ、斜面にめざすスギが見つかる。雷にでもうたれたのか地表4ｍほどでいったん朽ち、そこから新たに芽を出して支幹が成長したかのような姿である。主幹周りは8・6ｍであった。主な3本の支幹の直径は60～70㎝だろうか。樹高は30ｍ少々だと思われる。姿に似ず、樹勢は力強い。

◇　◆　◇

この山は、影地山と呼ばれる一帯の山々に含まれるひとつの頂である。そもそも仙現丸という山名は本村ではなじみがない。しかし他の名称での特定もされてないようなのでこれを借用し「仙現丸の大杉」と呼ぶことにする。頂上から南方向に少し稜線を下がると、北方から南東方向への展望が見事にひらける。

折り重なる山々の向こうに徳島県沖と思われる光る海が横たわっている。深い山にあって思いがけずに海が現れると疲れがほぐれる。隣接する海陽町が町文化財に指定している「仙現丸の台杉」も近くの東斜面にある。

目の前、手が届くような距離にあるのが貧田丸で、こちら側へ続く小さな稜線を貫いて本村から徳島県に抜けているのが大木屋（おおごや）小石川（こいしかわ）隧道（ずいどう）であり、足元にある。

〔調査：平成20年4月18日〕

直下から見上げる。樹幹は大きくうねり県境の稜線で風雪に耐えてきたことをしのばせている

安田川を美しくする村民会議からお知らせ

安田川を美しくする村民会議とは、安田川の浄化活動と環境保全を一体に取り組むことを目的に結成された団体です。

具体的には、村内一斉清掃、安田川の水質検査を行い、データを取り、対前年比較を行う。廃食油を流さないようにリサイクルを行い、河川環境の改善等を行ってきました。

このように毎年、テーマを決めて事業を行っています。

今年の活動計画

①安田川の水質検査（馬路中央橋）
②近自然工法で水制工を作る（日浦エヤノ巻上流）
③えひめＡＩの普及による河川の浄化

特にえひめＡＩは村民の皆さまのご協力を得て、効果を見ることにしています。詳しい使い方は、広報の折り込みチラシをご覧ください。

活動の成果

○中央橋での水質検査結果
（一部抜粋）
大腸菌検査（ＷＰＮ／100ml）
平成10年　４９００個
平成15年　２２００個
平成20年　２２００個

大腸菌の検査抜粋です。水中に許容される大腸菌数は水産用水基準で１００個以下が適、１０００個以下が可、１０００個以上が不適となっています。安田川では、取り組みを進めた結果、改善がみられています。

○近自然工法の効果
（ＪＡゆずの森加工場下）

平成20年度に1基設置しました。その1年後調査を行い顕著だったのはアメゴの増加です。昨年ほとんどいなかった石積みの間に約30匹が集まっていました。調査によると石積みの下を水が抜けて水温が低くなる環境ができたためです。今後計画的に安田川へ設置したいと考えています。

えひめＡＩの効能と普及について

えひめＡＩとは、私たちが日常に食べる食品で簡単にできている環境浄化液のことをいいます。特徴として、食品でつくるため安全です。使用により、消臭から、堆肥等の発酵の促進、家庭排水の浄化作用、さらに植物の育成にも効果があるとされています。

今回、安田川の浄化のために、日浦の瀬戸ヶ谷地区の皆様にモニターになっていただき、効果を確かめたいと思います。

えひめＡＩの作り方

材料（1リットル分）
砂糖50グラム
ヨーグルト50グラム
ドライイースト4グラム
納豆1粒

①最初に砂糖とドライイーストをよく混ぜ、その後他の材料も加えてよく混ぜる。
②40度の温水を①に入れ、よく混ぜペットボトルに入れる。
③ふたをゆるめて35度で1週間おき、発酵（培養）させ、酸っぱくなっていれば出来上がり。夏場（今頃）は直射日光の当たるところに置いておけばよい。培養中は激しく振り混ぜないよう注意すること。

馬路村俳壇

梅雨の月小鹿の尻も眞白なり　山﨑喜久子
半夏雨（はんげ）半日じまいの鍬洗う　高芝　栄子
川の字にころがる幼な熱帯夜　小松　健児
朝採りの胡瓜の刺のやわらかき　山﨑　裕之
スケジュール詰まる手帖や夏つばめ　西山　徳裕
雷は玻璃の外なりタイプ打つ　中屋　良子
波乗りの夢の中ではプロの腕　山本　美幸
内勤の似合わぬほどの日焼かな　氏原　淑
ひまわりの畑より帰るランドセル　池　蘭子
打ち水をかわして止める郵便車　東谷　晴男
草をひく薄翅蜉蝣（うすばかげろう）袖にくる
梅雨晴や足にもつるる蜆蝶
鮎の竿おおきく撓（しな）りえびす顔
浮草にかくれし目高もメタボかな
笹舟を追う子の背の遠くなり
おかわりの声がうれしい夕立かな　小谷　由香
ニイニイもカナカナも鳴く梅雨晴間
万緑の底ゆく木道乾きくる
身ぎれいに老いてくれよと蛇の衣
奥に声でんと置きある蝮酒
海見えるあたりでひらく缶ビール
頬杖が得意のポーズ夏の山

馬路村の歴史と伝説

山中　巖

〈通算第140回〉

ちょっと一服・岩城家累代之墓碑文について

畧叙

岩城家本国は陸奥。其の祖先は裔を平氏に享け、代々領を奥州磐城に有し、文治元年、有故同勢、南、五味、大屋、国広、大井の五氏を相携え、伊予の越智郡岩城村に居し、再び居を転じ、阿州を経、此の地に移住す。

永禄十二年七月十日、安芸備後守国虎、長曽我部元親と兵を構う。馬路蔵人頭等馳せ参じ、国虎を応援せしも、国虎戦い半ばにして反者の為敗滅す。

以後、国内の勢力元親に帰す。

天正十二年、元親四国を平定し、豊臣氏に和す。然るに歳月は移り、元和元年、大坂夏の陣後、徳川氏の封建制度は就り、戦国の風塵茲に全く治れり。

而て、一旦治世に復するや、部将の功を論し、賞を行うに当たり、山内一豊公の掛川の領を易え、土州入国となり、此時に際し、安芸郡甲ノ浦に出向。是を迎えたる忠左衛門正一にして、歴代地頭として馬路村に職を掌りしか。

爾後、当村庄屋たるを以て、一豊公に命を受け、継承し、正忠に至り、維新の大業は完成し、庄屋たるの職はここに廃せられ、然りといえども、其の間の治績は、自づから村内山澤の上に遺れり。

時勢は変遷して、身職を奉する者、隻地に固着するを許さず。従て、古塚、旧墳、汚地、壌廃せん事を虞れ、村の代表者、並に名誉職一同、及び当時岩城家の継承者と協定。此処に改葬し、永遠に春秋貳期の祭典を挙行し、千秋万古其の霊を慰め、斯の畧叙を以て碑文に換え、以て不朽に垂れんと云爾

昭和四年五月　叔

別役正昇

○備考

碑文内の年号の西暦

文治　元年（一一八五）
永禄十二年（一五六九）
天正十二年（一五八四）
元和　元年（一六一五）
昭和　四年（一九二九）

毎年一月一日午前八時、「謡の口開け」が金林寺薬師堂において執行されている。この会合に出席している者は、南、久保、中屋、大家、岡田の五氏です。村内外の郷土史家は、この「謡の口開け」に現在も参加している五氏が正しいものと考えられている。

←正面

紋章　岩城家累代之墓

←後方碑文面

←左側

岩城　正英
安芸郡馬路村長　北川　重盛
妙山寺　前田俊泰書

←右側

昭和六年九月建之

外国語指導助手　ナオミ・クロスビー・イワサキ
（アイルランド　ダブリン出身）

両親の訪問

アイルランドから両親が私に会いに来てくれました。母にとって日本は初めてで、父にとって高知県は初めてでした。

両親は、まず天候に驚いていました。今の時期、日本は梅雨で、ものすごく雨が降るだろうと聞いていたようですが、予想と違ってなんて美しいのだろう！と、びっくりしていました。アイルランドには雨期がない代わりに1年中雨がしとしと降り、太陽を見ることはめったにないのです！

母の名は「メアリー」。ダブリンにあるトリニティ大学の生徒です。同じ大学を私も卒業しました！

私たちは同時期に同じ大学で学び、私が4年生の時、母は1年生だったのです！図書館で勉強している母を見た時はたびたびショックを受けました。母は放射線治療（放射線を使う癌の治療法）について学んでおり、今、2年生を終了したところです。

父は「ヨシヒコ」といい、横浜の出身です。アイルランドに来たのは1971年で、彼が23歳11カ月の時でした。（なんと、私が日本に来たのも私が23歳11カ月の時だったのです!!!）父は38年間アイルランドで空手を教えています。また、日本料理のシェフとしても働いており、「富士」というレストランを持っています。

▲若かりし頃のヨシヒコ

♪♪♪馬路村に感激♪♪♪

私の両親は空手を通じて出会いました。父が先生で、母が生徒でした。現在、父は７段で、母は初段です。母は一度空手の型で、ヨーロッパチャンピオンになったことがあります。私はまだ１級なので、両親に追いつけるぐらい一生懸命練習しなければいけません。

L FLYING
MARY SMASHES ALL THE MEN!

メアリーはすべての男を打ち破った！

▲アイルランドの新聞記事（写真：メアリー）

両親は東洋町や室戸市、安芸市、高知市などいろいろなところを訪れて楽しむことができましたが、一番のお気に入りはもちろん馬路と魚梁瀬です。馬路村は小さい村だと知っていたけれど、実際に見るまでは信じられなかったようです。また、馬路の美しさや魚梁瀬ダムから見る景色に感動した様子でした。

両親が馬路に着いた日にちょうど行われていた馬路温泉のビアガーデンに参加しました。両親は疲れていたのにもかかわらず、そこで、馬路村の多くの人々にお会いできたことをとても喜んでいました。そして、両親は大歓迎を受け、たくさんの馬路村の人たちと話をすることができました。（ほとんど日本語が話せない母でさえも。）

両親は高知市で鰹のたたきを初めて食べたのですが、とても美味しかったそうです。おかげさまで、両親は高知県で素晴らしい時を過ごすことができました。とても優しく、温かいおもてなしをしてくださった皆さんに感謝を申し上げたいです。本当にどうもありがとうございました。両親は、「来年きっとまた来る！」と言っていましたので、その時はまた、よろしくお願いします。

▲魚梁瀬英会話教室で後列右：メアリー、ナオミ、ヨシヒコ

～Dr.内田のひとりごと～

「おぼれたときの救命処置について」

8月に入り、夏真っ盛りですね。皆様いかがお過ごしでしょうか。6月以降、私の周りでは「鮎はどうでぇ？」があいさつとなっています。

さて、暑い夏に起こってほしくないのが水難事故。でもいざというときに知識があるかないかは大違いです。今回は水難事故時の救命処置について書いてみたいと思います。

おぼれている人を見つけたら

直ちに119番通報（馬路の場合、救急車が来るまで時間がかかりますから、とにかく人を集めること）をします。救助する人は確実に何かにつかまって、手や足を差し伸べたり、棒やタオルなどにつかまらせたりします。岸から離れている場合は浮き輪やロープ、板などを投げ入れてもいいでしょう。

おぼれている人のところに泳いで助けに行くのは最後の手段です。しがみつかれて救助者もおぼれてしまうことがあるので、とにかく周囲の人に協力を求めます。

飛び込んだ場合などで、首を損傷しているとき（頭にケガがある場合など）は、患部をできるだけ動かさないようにして板にのせ、そのまま引き上げます。

救助後に意識がある場合

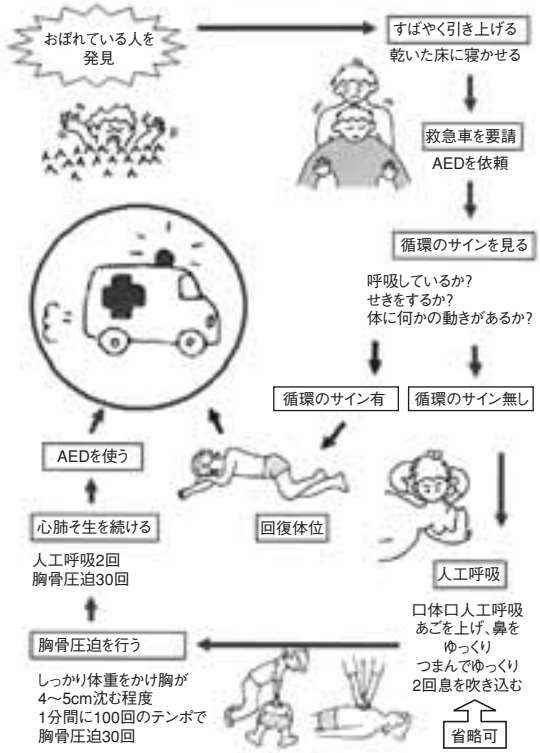
安静に寝かせ、吐き気がするときは顔を横に向けて吐かせます。また、毛布や乾いたタオルなどで身体を温めます。

意識（反応）がない場合

まず気道を確保します。さらに呼吸がなければ心肺そ生法（心臓マッサージと人工呼吸）を行います。

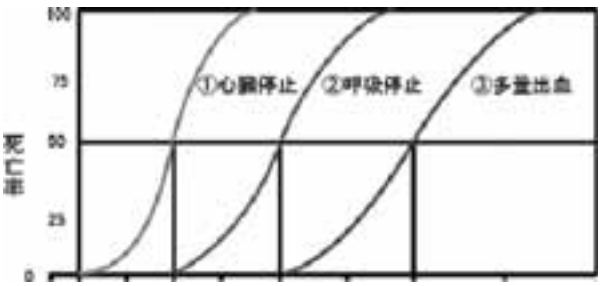
救助者が一人の場合は、まず心肺そ生を約2分行ってから通報します。

おぼれている人の救命処置の流れ



人工呼吸に自信のない方は、とにかく心臓マッサージだけを続けてください。人工呼吸に慣れていない方や、十分な気道確保ができていない場合は、心臓マッサージだけでも救命率は変わらないというデータもあります。

水難事故ではとにかく迅速な心肺そ生法が重要です。水を吐かせたりすることに時間を費やさないでください。



～いつものつぶやき～

私が川でおぼれないように気をつけます・・・。

お知らせ

平成21年度『自衛官募集』案内

詳しくは自衛隊高知地方協力本部　安芸地域事務所までご連絡ください。

住　所　安芸市本町3丁目11-5（Smile Aki前　2F）
ＴＥＬ　0887－35－2749
ＵＲＬ　http://www.mod.go.jp/pco/kochi/
携帯サイト　http://www.mod.go.jp/pco/kochi/itop.htm

「通告」は健康福祉課へ

村では、「馬路村要保護児童対策地域協議会」を設置しています。この協議会は、村内外の関係機関が連携して、情報の共有化を図り、要保護児童等に対する、適切な支援等を行っていくものです。通告内容例にあるような情報をお持ちの場合は、ご連絡をよろしくお願いします。

■通告内容例■

◇近所で赤ちゃんの泣き声が異常によく聞こえる。
◇保護者の怒鳴り声が頻繁によく聞こえる。
◇傷やアザがある子どもがいる。
◇いつも同じ服を着ていて服が汚れている。
◇夜遅くまで独りで遊んでいる子どもがいる。など

◆通告による秘密は厳守いたします。

問い合わせ先
役場健康福祉課
ＴＥＬ　44-2112（平日）
ＴＥＬ　44-2111（夜間・土・日・祝日）

馬路村職員募集

馬路村の職員募集を、次のとおり実施しています。

採用職種及び採用予定人員
一般行政職　若干名
保　健　師　1名
理学療法士　1名

受験受付期間
現在受付中

平成21年8月21日(金)まで

試験日
一次試験
平成21年9月20日（日）

受験資格
平成22年4月1日現在で、満30歳以下の者
一般行政職は高等学校卒業以上（平成22年3月卒業見込みの者を含む。）の学力を有する者
保健師は保健師の免許を有する者又は平成21年度当該免許の国家試験合格見込みの者
理学療法士は理学療法士の免許を有する者又は平成21年度当該免許の国家試験合格見込みの者
採用後、村内に居住することを原則とします。

問い合わせ先
役場総務課
ＴＥＬ　44-2111

全国一斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」強化週間

高知地方法務局と高知県人権擁護委員連合会では、高齢者や障害者の人権問題解消に向け、次のとおり電話相談の強化週間を実施します。

実施期間
平成21年9月6日（日）から9月12日（土）まで

受付時間
○平日
午前8時30分から午後7時まで
○土曜日・日曜日
午前10時から午後5時まで

取扱内容
介護者からの肉体的・心理的虐待、あるいは家族等による経済的虐待、就業差別、暮らしの悩みごとなど、高齢者・障害者をめぐる人権問題。
※相談は無料、秘密は厳守します。

問い合わせ先
高知地方法務局人権擁護課
ＴＥＬ　088-822-3503

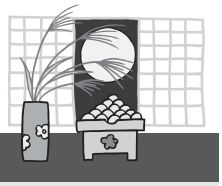
8月は「電気使用安全月間」です

夏季は、皮膚の露出部分が多くなり、発汗により皮膚がぬれて電気が通りやすくなります。また、疲労から注意力が散漫になりがちで、感電などの電気事故は、夏季（7～9月）に集中して発生しています。

そのため、8月を「電気使用安全月間」と定め、経済産業省主唱のもと、電気使用安全周知・啓発のため街頭キャンペーン、電気安全講習会の開催、電気設備の点検や不良設備の改修促進などの活動を行っています。

財団法人　四国電気保安協会
高知支部　安芸事務所
ＴＥＬ　0887-34-3705

8月・9月 むらの行事予定



8月		
1	土	
2	日	
3	月	ヨガ教室（デイサービスセンター）19:00～
4	火	絵本の読み聞かせ（多目的施設）10:30～11:00
5	水	子育て広場（デイサービスセンター）13:30～
6	木	和菓子作り教室（就業改善センター）13:00～15:00
7	金	行政相談所（多目的施設）10:00～12:00 人権相談所（多目的施設）10:00～15:00 1歳6カ月健康診査（田野町保健センター）13:00～受付
8	土	親子絵本づくり教室（就業改善センター）9:00～12:00
9	日	親子絵本づくり教室（就業改善センター）9:00～12:00
10	月	
11	火	
12	水	木工教室（馬路小学校図工教室）9:00～12:00
13	木	
14	金	おしどりマラソン大会申し込み締め切り 古紙回収（魚梁瀬）
15	土	馬路納涼祭 フルマラソン大会申し込み締め切り
16	日	
17	月	アロマ石けん作り教室（交流センター）10:00～12:00 ヨガ教室（デイサービスセンター）19:00～
18	火	絵本の読み聞かせ（交流センター）10:30～11:00
19	水	村教育研究会
20	木	手打ちうどん教室（就業改善センター）9:00～12:00 保育所交流会
21	金	
22	土	
23	日	村内4校PTA親子研修旅行
24	月	犬・猫引き取り日
25	火	男の道場（就業改善センター）18:30～
26	水	
27	木	わくわく科学教室（就業改善センター）10:00～15:30
28	金	乳児健康診査（田野町保健センター）13:00～受付 古紙回収（馬路）
29	土	ギター教室発表会（馬路温泉別館ロビー）
30	日	第45回衆議院議員総選挙 第21回最高裁判所裁判官国民審査
31	月	

9月		
1	火	村内4校始業式
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	絵本の読み聞かせ（多目的施設）10:30～11:00 ヨガ教室（デイサービスセンター）19:00～
8	火	魚梁瀬敬老会
9	水	馬路敬老会 ことばの教室（田野町保健センター）10:00～
10	木	子育て広場＜歯科指導＞（馬路保育所）10:00～
11	金	古紙回収（魚梁瀬）
12	土	
13	日	
14	月	犬・猫引き取り日
15	火	絵本の読み聞かせ（交流センター）10:30～11:00 男の道場（就業改善センター）18:30～
16	水	
17	木	3歳健康診査・歯科健診（田野町保健センター）13:00～受付
18	金	
19	土	
20	日	馬路おしどりマラソン大会
21	月	馬路保・小・中合同運動会 ヨガ教室（デイサービスセンター）19:00～　敬老の日
22	火	国民の休日
23	水	秋分の日
24	木	
25	金	乳児健康診査（田野町保健センター）13:00～受付 古紙回収（馬路）
26	土	
27	日	魚梁瀬保・小・中合同運動会
28	月	
29	火	
30	水	ポリオ（田野町保健センター）13:00～受付

人口月中異動	増加				減少				月末現在人口合計
	出生	転入	職権	計	死亡	転出	職権	計	
6月				0	1	4		5	1,057
7月		1		1	1	1		2	1,056

馬　路　829人、362世帯
魚梁瀬　227人、115世帯

馬路村特別村民 3,730人
（7月31日現在）

村内あちらこちら

6月9日　起震車体験（魚梁瀬小学校）

6月11日　馬路村消防団消防庁長官表彰旗受賞

6月25日　夢先生事業（馬路小学校）

7月3日　コッコ・サンの絵本読み聞かせ

7月18日　フェスティバル魚梁瀬

村のできごと

6月

1日　安田川鮎漁解禁
7日　高知県総合防災訓練・地域防災フェスティバル（奈半利町）
9日　起震車体験（村内4校）
　　ボランティアガイド養成講座
11日　6月定例議会
　　馬路村消防団消防庁長官表彰旗受賞
14日　村内一斉清掃
18日　ボランティアガイド養成講座
23日　防災訓練（役場）
25日　夢先生事業（馬路小学校）

7月

2日　コッコ・サンの絵本の読み聞かせ（魚梁瀬保育所）
3日　コッコ・サンの絵本の読み聞かせ（馬路保育所）
4日　夕涼み会（馬路・魚梁瀬保育所）
8日　魚梁瀬中学校全校キャンプ（～9日）
9日　馬路中学校チャレンジデイin室戸市（～10日）
14日　村内中学校水泳交歓会（馬路小プール）
18日　フェスティバル魚梁瀬
19日　中芸消防大会（田野町）
25日　魚梁瀬青少年育成実行委員会の夏のキャンプ（～26日）
29日　中芸地区小学校水泳記録会（安田中学校）

編集後記

長かった梅雨もようやく明け、夏本番といきたいところですが、早くも立秋を過ぎて残暑の季節となっています。季節の移り変わりを肌で感じたいところですが、カレンダーを見て感じてしまっている自分が情けなく、時間に追われている感があり、なんとか心に余裕を持ちたいものです。

さて、今回初めて広報を担当させて頂きました。なにかと不十分な点もあろうかとは存じますが、ご意見ご感想などお待ちしております。（I）

編集発行▶馬路村教育委員会
住所　〒781-6201　高知県安芸郡馬路村大字馬路443
TEL　0887−44−2216　FAX 0887−42−1010
E-mail　umaji-v@kochinet.ed.jp
印　刷▶高知印刷株式会社